

座 長 講 評 〈午前の部〉

田 中 有 男（松山短期大学教授、
元(株)いよぎん地域経済研究センター社長）

皆様お疲れになられたと思います。昨日から今日まで最後までお聞きになられた方には、お一人お一人感謝状を出したいような気持ちです。この2日間本当に無料でこんなに勉強をさせていただいて、こういう企画を松山でやって頂きました櫛本先生を初めとして、広島大学そして地域経済研究センターの皆さん、それからやはり四経連さん、中経連さん、本当にお世話になりまして、厚く御礼申し上げます。最後にいろいろ申し上げますと皆さんがっかりされると思いますので、なるべく短く感想だけ述べさせていただきます。

徳島経済研究所の女性の研究員の善成さん、皆さんは善成さんが出て来られると目がきらりと光っておられました。非常に女性らしい感性で分かりやすくお話して頂きました。残念なことにちょっと時間がなくて、今後の見通しあたりがお聞きできなかったのですが、彼女のような方が益々精進して行って、素晴らしい研究員になられますようにご期待申し上げます。それから中国産業活性化センターの部長さんでしたが、一番何と言いましても中国と四国の英知を傾けたといえますか、素晴らしい方々が心血を注いで作った調査報告書を、短い時間ではありましたが非常に具体的で、一つの島に一つのアイデアというような、やはり地元のシンクタンクさんならではのアイデアがいっぱいあったように思います。私も実はI R Cにお世話になっている時代にお手伝いさせて頂いたことがあります、本当に私たちは上浦町のことは何も知らなかったのですが、行ってみますといろんな可能性があります。私たちはこんな素晴らしい瀬戸内海を持っているながら、その価値を本当に知らなかったのですが、今度のこの西瀬戸自動車道が出来る機会に改めてこの素晴らしさが分かってくると思います。この調査報告書は掛けがえのない報告書であります。その中で言っておられましたように、本当に地元がこの素晴らしい価値を再評価されて、今こそ立ち上がらなければ折角の機会が無駄になるというような感じがしました。それから柏谷先生もご指摘になりましたが、観光は確かにこれからの大きな目玉になることは間違いないと思います。年間イギリスは2,000万人、フランスは6,000万人の外国人観光客が来ています。日本には2～300万人しか来ていません。しかしこれからアジアが発展しますと、観光客が増えてくるということは間違いないと思います。その時に瀬戸内海をどのようにやっていくかと、丸本さんが仰っていたように、本当にホスピタリティということが問われる時代になってくるのではないかと思います。そういう意味で観光、そして柏谷先生が仰ったように観光以外の何か、これも

先程総研の方もおっしゃっていましたが、考え方によってはまだまだ瀬戸内海はいくらでもやることはあるのではないかという気がします。それから3番目に高知の若い松尾さんが発表されまして、私は本当に感動致しました。ああいう若い方があれだけ思い切ったことが言えるというのは本当に素晴らしいことです。今までは高知は駄目だ高知には何も出来ないという空気が強かったのですが、そうではなくてこれからもっと考え方を变えて、ビジョン先行型でいくというお話でしたが、まさにプラス発想でして今後の高知に大いに期待したいなと思います。またああいう人達が育っていかれると、高知というのはこれからきっと期待される素晴らしい所になるのではないかなと思いました。せめて予算の10%でも他県の為に考えたらとおっしゃいましたが、本当にそうだと思います。そういう発想が今まで私たちにはありませんでした。お話の中にああいうことが出てきたというのは本当に嬉しく思いました。

この2日間を通じましてつくづく思いましたのは、櫛本先生が広島と松山・高知が一つにならないといけない。その為にはQルートが大事だということを数年前におっしゃっています。私たちは何とかこれが「念ずれば花開く」になって欲しいなと思って居ます。それがこういう形で日本全土にQルートということがだんだん認められているということは本当に嬉しいです。私たちも出来るかぎりこのQルートの実現を目指してやっていかなければいけないと思います。私は松山の出身ですから特に言うわけではありませんが、やはり広島から松山、松山から高知というQラインが広がって行くことを心から期待しているわけです。

それからもう一つ昨日来思っていたことは、やはり何と言っても産業界の方々が一番いろんなことを良く知っているわけですから、本当に中四国連携ということについて、産業界の方々がもっと奮起して頂きたい。そして盛り上げていくということが今後大事になってくるのではないかなと思っています。橋ができるのは決まっているわけです。徳島では後何日ということをやっています。もう目の前に迫りながら、皆さんもご指摘のように本当にこんなことでいいのかなと、これは率直な気持ちだと思います。そういう意味でやはりいろんな所でもっともっと盛り上げていく必要があるのではないかなと思います。実は2～3年前に広島ご出身の阿川弘之先生のお供をしまして伯方に行きました。その時に阿川先生にいろんなお話をお聞きしました。先生は広島にお生まれになってそして瀬戸内海の良さを一番よく知っている方ではないかなと思います。他にもたくさんいらっしゃると思いますが、例えば阿川先生のような方にも、どんどん瀬戸内海のことをお書き頂いてそして盛り上げていくような方法もあるのかなと考えています。本当に2日間にわたりまして、松山でこんなにたくさんお集まりいただくとは思っていませんでした。この方々が本当に素晴らしいことを勉強されていると思います。心から感謝申し上げましてご挨拶とします。